

CMSと制作方法の選び方チェックシート

今の環境を活かすか、変えるかを確認するためのシートです。製品の良し悪しではなく、貴社の更新のしかたと費用、移行と撤退の条件から比べます。

使い方	内容
1 現状を記入する	現行環境から撤退の条件までの6項目を、担当者と更新する人で記入します。分からない項目は、確認先をメモに残します。
2 候補を比べる	候補ごとに同じ項目で確認し、比較の表にまとめます。
3 判断を残す	選んだ理由と選ばなかった理由を残すと、社内の説明と後日の見直しに使えます。

1 現行環境

	確認すること	現状・メモ（貴社記入）
☐	今のCMS・制作方法の種類と版（WordPress、Studio、独自のCMSなど）	
☐	サーバーとドメインの契約の名義、更新の時期	
☐	ページ数、テンプレートの種類、お知らせなどの記事の数	
☐	管理画面に入れる人と、権限の管理の方法	
☐	制作や保守を依頼している会社と、契約の終了の条件	
☐	CMS本体や拡張機能を最後に更新した時期	
☐	今の環境で困っていることと、困っていないこと	

2 必要機能

	確認すること	現状・メモ（貴社記入）
☐	更新する内容の種類（お知らせ、ブログ、事例、求人など）	
☐	フォームの項目と、通知の送り先	
☐	会員、決済、予約など、追加で必要な機能	
☐	顧客管理、採用管理、広告の計測など、外部サービスとの連携	
☐	多言語の対応と、対象のページ	
☐	検索とAI検索に必要な設定（ページごとの説明、構造化データなど）ができるか	
☐	公開前の承認の流れと、公開の予約	
☐	セキュリティと個人情報に関する社内の要件	

3 更新する人の操作

	確認すること	現状・メモ（貴社記入）
☐	更新する人の人数と部署、担当者が変わる可能性	
☐	更新の頻度と、急いで更新する場面	
☐	コードを書かずに更新できる範囲	
☐	文章、画像、ページの追加のうち、社内で行う作業と依頼する作業	
☐	更新の担当者が実際の管理画面を試したか	
☐	操作の手順書と、困ったときの問い合わせ先	

4 初期と年間の費用

	確認すること	現状・メモ（貴社記入）
☐	初期費用の内訳（制作、移行、データの整理）	
☐	年間費用の内訳（利用料、サーバー・ドメイン、保守、更新、追加修正）	
☐	利用者数やページ数が増えたときに、料金が上がる条件	
☐	外部サービスの料金ページを確認した日付	
☐	複数年で比べた総費用（別紙「初期費用と年間費用の確認シート」）	

5 移行条件

	確認すること	現状・メモ（貴社記入）
☐	記事、画像、フォームのデータを取り出せるか、その形式	
☐	旧URLから新URLへの転送と、対象のページの一覧	
☐	移行後も、検索とAI検索に必要な情報を保てるか	
☐	切り替えの時期と、止められない業務やキャンペーン	
☐	並行して動かす期間と、元に戻す手順	
☐	今の契約を途中で終える場合の費用	
☐	移行の作業の担当者と、結果を確認する人	

6 撤退の条件

	確認すること	現状・メモ（貴社記入）
☐	どの状態になったら今の環境や新しい環境をやめるか（費用、機能、保守の担い手など）	
☐	別の環境へ移るときに、データとデザインを持ち出せるか	
☐	コードとして書き出せるか、書き出せない場合の作り直しの範囲	
☐	ドメインとアカウントを自社の名義で持ち続けられるか	
☐	料金の改定やサービスの終了が、いつどのように通知されるか	
☐	制作会社を変える場合に、引き渡してもらえるもの	

7 活かすか変えるかの目安

方向	合いやすい状況
今の環境を活かす	必要な機能の多くが今の環境で足りている。更新する人が操作に慣れている。困りごとの中心が、構成、原稿、導線にある。
一部を変える	困っている機能やページが限られている。止められない業務があり、一度に切り替えにくい。
環境を変える	保守や更新の担い手がない。必要な機能が今の環境で実現しにくい。データの持ち出しや費用の条件が、今後の計画に合わない。

目安であり、どの製品や方法が優れているかを示すものではありません。同じ製品でも、更新する人や必要な機能によって向き不向きが変わります。

8 候補の比較

確認すること	候補A：	候補B：	候補C：
必要機能を満たせるか			
更新のしやすさ			
初期費用			
年間費用			
移行の手間と期間			
撤退のしやすさ			
残る課題			

9 判断の記録

項目	内容（貴社記入）
選んだ方向	☐ 今の環境を活かす ☐ 一部を変える ☐ 環境を変える
選んだ理由	
選ばなかった理由	
見直す条件	
次に確認すること	

記入したシートをお持ちいただくと、現状を踏まえてご相談いただけます。ご相談：yurulica.com/contact